

平成29年度一番茶萌芽状況報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 萌芽期

本年	前年	前5か年
4月 10日	4月 7日	4月 8日

2. 生育状況

項目	年次	4月17日	4月22日	4月27日	5月2日	5月7日
新芽長 (cm)	本年	0.88 ± 0.24	1.38 ± 0.46	2.63 ± 0.69	4.12 ± 1.26	6.19 ± 2.00
	前年	1.01 ± 0.42	1.87 ± 0.65	3.92 ± 1.06	5.87 ± 1.44	8.00 ± 2.28
	前5か年	0.71 ± 0.29	1.38 ± 0.52	2.78 ± 0.92	4.52 ± 1.39	5.63 ± 1.84
新葉数 (枚)	本年	0.40 ± 0.49	1.10 ± 0.65	2.00 ± 0.67	2.64 ± 0.60	3.56 ± 0.61
	前年	0.30 ± 0.51	0.96 ± 0.67	2.18 ± 0.69	2.70 ± 0.58	3.56 ± 0.58
	前5か年	0.23 ± 0.35	0.83 ± 0.57	1.86 ± 0.69	2.88 ± 0.67	3.41 ± 0.61

3. 気象表

項目・年次 月・旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	4.8	5.5	2.8	10.2	11.9	7.9	0.5	0.2	-1.3
	1.5	2.6	2.5	6.3	8.2	7.6	-2.4	-1.7	-1.6
	1.7	2.4	2.3	7.0	7.1	7.3	-2.4	-1.9	-1.8
2月 上旬	2.2	2.6	2.1	6.5	8.6	7.5	-1.2	-2.5	-2.4
	2.9	5.6	2.9	9.0	11.4	8.2	-1.3	0.7	-1.5
	3.4	4.6	4.3	9.2	10.2	10.0	-2.1	-0.6	-0.5
3月 上旬	4.9	8.0	4.9	11.6	13.7	10.6	-0.8	3.3	0.2
	5.7	6.9	6.2	12.1	12.8	12.3	-0.1	1.3	0.7
	6.9	7.9	7.5	12.0	14.9	13.6	2.2	1.1	1.8
4月 上旬	11.4	13.2	9.9	16.9	18.5	16.3	5.9	8.1	4.0
	12.7	12.4	11.9	19.0	18.7	18.4	6.4	5.7	5.9
	13.1	14.8	13.6	19.5	20.3	20.0	7.1	9.5	7.8
5月 上旬	16.7	16.8	15.9	23.3	22.9	22.3	11.0	11.4	10.2

項目・年次 月・旬	降水量 (mm)			降水日数 (日)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	15.5	3.0	17.7	4	2	3.8
	30.5	17.0	21.0	5	3	4.0
	29.5	42.0	24.2	6	2	4.4
2月 上旬	34.5	2.5	19.2	8	1	4.5
	26.5	58.0	29.1	7	5	4.4
	10.5	13.0	24.9	3	2	3.8
3月 上旬	6.5	32.5	32.3	5	2	4.7
	11.5	36.0	34.4	4	4	4.0
	57.0	0.0	38.5	3	0	4.9
4月 上旬	31.0	79.0	35.9	5	4	3.8
	55.0	19.0	30.2	5	3	4.0
	15.0	53.0	32.6	4	6	3.7
5月 上旬	13.5	34.5	40.0	4	5	3.5

終霜日 本年 4月13日 (最低気温 1.0°C) 前年 4月12日 (最低気温 -0.7°C)

最低極温 本年 -4.4°C (2月28日) 前年 -6.4°C (1月26日)

4. 供試園の条件

品 種	定植年次	栽植密度	樹高	株張り	その他
やぶきた	昭和31年3月 (62年生)	180cm×30cm	97cm	157cm	防霜ファン設置ほ場

年間施肥成分量 (kg/10a) N:64.0 P₂O₅:14.0 K₂O:20.6

5. 概況

1) 気象

1月上旬から5月上旬にかけての平均気温は、1月中旬から3月下旬まで平年並～低く推移した。

期間中の降水量は、2月上旬、3月下旬および4月中旬に多い～かなり多かったものの、それ以外の期間では平年並～少なく推移し、総降水量は336.5mmと平年に比べ11.5%少なかった。特に、2月下旬から4月上旬までの総降水量は116.5mmと平年に比べ30%少なかった。

2) 生育

本年の一番茶萌芽期は、1月中旬から3月下旬の平均気温が平年並～低く推移し、2月下旬から4月上旬までの降水量が少なかったことから、前年より3日遅く、前5か年平均より2日遅い4月10日となった。

萌芽期以降の生育は、降水量が少なかったものの平均気温が平年並～高く推移したため、ほぼ平年並で推移した。

平成29年度一番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 摘採日

本 年	前 年	前5か年
5月 9日	5月 9日	5月 9日

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		前5か年	
収 量	指数	収 量	指数	収 量	指数
439 ± 38	85	715 ± 51	138	517 ± 37	100

3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		前5か年	
重 量	指数	重 量	指数	重 量	指数
37.6 ± 2.6	92	54.1 ± 3.4	132	41.0 ± 2.4	100

4. 新芽数 (本/m²)

本 年		前 年		前5か年	
芽 数	指数	芽 数	指数	芽 数	指数
1214 ± 169	99	1204 ± 103	98	1224 ± 112	100

5. 出開度 (%)

本 年	前 年	前5か年
71	55	62

6. 概況

1) 生育

本年の一番茶摘採日は、萌芽期が前5か年平均より2日遅かったが、萌芽期以降の平均気温が平年並から高く推移したため新芽の生育が早まり、前5か年平均と同日の5月9日となった。これによって、萌芽期から摘採日までの日数は29日と前5か年平均より2日短かった。

本年の摘芽状況は、新芽数が前5か年平均の99%であったものの、新芽生育期間中の降水量が少なく百芽重が同92%となったことから、生葉収量は前5か年平均の85%（439kg/10a）となった。

2) 県内の状況

摘採始めは平坦地で5月5日頃、山間地で5月10日頃と平年より3日程度遅かった。また、収量は芽数が少なく百芽重が小さい傾向であったため、減収となった。

3) 病害虫の発生

チャノコカクモンハマキの越冬世代成虫の飛来時期は平年並で、発生量は多かった。一方、チャノホソガの発生量は平年並で、カンザワハダニは少なかった。